

高反射アルミ板 L型光ダクト納まり参考図

特記事項

ダクト内部構造は非公開です。
複数の放光部がある場合には出力の均一化又は調整を行います。

採光部・放光部について

光ダクト採光部形状は、詳細設計時に最適形状のシミュレーションを行い決定します。
トップライト推奨角度: 45°
放光部の配光バランスは詳細設計時にシミュレーションを行い決定します。

光ダクトの開口について

光ダクトと躯体及び下地スチール材とのクリア寸法(有効開口)は、100mmから150mmとして下さい。
最上部等で、躯体に断熱材(ウレタン吹きつけなど)がある場合は、その厚さを除き、有効寸法で100mm~150mmにご検討願います。

トップライト特記事項

トップライトのガラスは、LOW-Eガラスを使用しないで下さい
トップライトのガラスは、透明ガラスとして下さい
型ガラス及び透明型ガラスは、使用しないで下さい
トップライトのガラスは、光ダクト採光部の施工後に取り付けください

MATERIAL HOUSE

光ダクトのリーディングカンパニー

CONFIDENTIAL

